





東京逓信病院 TOKYO TEISHIN HOSPITAL

多彩なカラーが、会話のきっかけに! きれいなシルエットにモチベーションもアップ!



急性期から緩和ケアまで、幅広い医療を提供

東京都千代田区にある東京逓信病院は、1938年に旧逓信省の職域病院 として開設された歴史ある病院。1986年に保険医療機関として承認を受けて 一般開放され、1996年には東京都の救急医療機関の告示病院となりました。 現在は、29の診療科と461床を備えた総合病院に発展。急性期病棟・地域 包括ケア病棟・緩和ケア病棟を有し、急性期から慢性期まで幅広い治療領域を 担当する地域の中核医療機関としての役割を担っています。また、2023年より 「東京都がん診療連携拠点病院」に指定され、診断から緩和ケアまで一貫した がん治療を実践しています。

アシックスのユニフォームが選ばれた2つの理由

約400名が在籍する看護部では、2021年からアシックスのユニフォームを導入。 看護部長の鮎川さんは、「ほぼ全員に試着してもらって、アンケートを取りました」と 当時を振り返ります。管理職の方がセレクトした数点を更衣室に用意し、着心地や 機能性などについてのアンケートを実施。その結果、アンケート上位の3型4色が 採用されました。管理職の方が候補を選ぶにあたり、動きやすさや透けにくさは 大前提として、特に重視されたのが耐久性でした。以前のユニフォームは洗濯を 繰り返すうちに、色落ちや型崩れが発生。次回の切り替えまで5年間着用すること を考慮し、「スポーツブランドなら、しっかりしていて丈夫なのでは」とアシックスの ジャケットを選ばれました。パンツは、管理職の試着の段階でアシックスに決定した

と言います。その理由は「履いたときのかっこ よさ」。メーカーによって履き心地やシルエットが 大きく異なる中、アシックスのパンツは「すごく かっこよく見えて、衝撃でした。ラインが全然 違いましたね。」と鮎川さん。「きれいなほうが、 みんなのモチベーションも上がるので」と即時、 採用が決まりました。パンツのカラーは、 リニューアル前から決めていたというネイビーに。 透けにくく汚れが目立ちにくいことから、 スタッフから「次は絶対にネイビー」という 希望があり採用しました。



色をきっかけに生まれるコミュニケーション

3型4色が採用されたジャケットは、白2枚と各自が選んだ好きな色を合わせて、計5枚が支給される形になりました。色の組み合わせは、 「白以外はすべてネイビー」「ひととおり全色揃える」など十人十色。それぞれに個性が出たことで、「いつもブルーを着ている人が別の色を着ていると、 今日は違うねって会話が生まれることもありました」と、看護師長のEさん。同じく師長のYさんも、「夜勤の引継ぎで集まったときに全員が同じ色で 揃ったりすると、今日みんなワイン色だね、がんばろうねって結束力が高まります」と、色のもたらす効果を口にします。「夜勤のときは、襟付きの白を よく着ます」と語るのは、入職3年目のWさん。動きやすさもさることながら、白を着ることで、ナースとしての気合いが入ると言います。患者さんからの 反応も良く、高齢の方には特に明るいワイン色が好評とのこと。親しみのあるスポーツブランドで、なおかつ2021年が国際的なスポーツの大会が 行われた年でもあったことから、「肩の口ゴに気付いた患者さんから、アシックスだね、いいの着てるねって声を掛けられました」というエピソードも。 ユニフォームをきっかけに、スタッフ同士や患者さんとのコミュニケーションが生まれているそうです。

着心地、動きやすさ、シルエットを総合的に評価

導入から早3年、着心地や動きやすさについて伺うと、「さすがにちょっとヘタって きたかな(笑)」と言いつつも、皆さん口を揃えて「特に不満はない」とのこと。中でも ポケットは、深くて物が入る、出し入れしやすい、もたつかないなど、使いやすさを 評価されています。生地はほどよい厚みで透けにくく、汗をかいても軽やかな着心地が 続くところが高評価。通気性を考慮したベンチレーションも以前のユニフォームより しっかりしているとのことでした。ヒップラインまでカバーする長めの丈と、メリハリの あるシルエットも好評。Yさんは「以前のものはダボっとしていて、私のように小柄 だと着られている感じがあり、鏡に映る姿を見てがっかりすることもあったんです。 でもこれはラインがキレイに出るので気に入っています」とシルエットの良さを 実感しています。ユニフォームに寄せられる期待や実際の着心地など、貴重なご意見を たくさんいただくことができた今回の取材。これからもユニフォームを通じて、日々の お仕事に少しでもお役に立てていれば幸いです。





日々研鑽を重ね、時代や社会のニーズに応え続ける

看護部の理念は、「心がかよい信頼される看護を提供します」。患者さんと信頼関係を築き、思い 看護や介護を考える視点を養っていきたいと思っています。また、職員にとって働きやすい職場である ことも重視しています。看護部は勤続年数が長く、臨床経験も平均15年以上。20代から60代まで 幅広い世代が活躍しています。職員の満足度は、より良い看護につながります。これからもより一層、



東京都千代田区富士見2-14-23 https://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/



採用品番/ スクラブ CHM355(P.41)・ジャケット CHM357(P.47)・スクラブ CHM354(P.49)・パンツ CHM151(P.59) スクラブ CHM855(P.41) · スクラブ CHM857(P.47) · スクラブ CHM854(P.50) · パンツ CHM651(P.59)